

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 4 月 12 日 (2012.4.12)

【公開番号】特開 2009-122356 (P2009-122356A)
 【公開日】平成 21 年 6 月 4 日 (2009.6.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-022
 【出願番号】特願 2007-295641 (P2007-295641)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 21/14 (2006.01)

G 0 2 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/14

G 0 2 B 21/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

観察標本を載置するステージと、
照明光を前記ステージ上に載置された前記観察標本に導く照明光学系と、
対物レンズを含み前記観察標本を透過した光を集光する観察光学系と、
前記対物レンズの前記観察光学系にある瞳位置に設けられた位相板と、
前記対物レンズと共役な位置に設けられ、リング状の光が射出される光学素子と
を備えた位相差顕微鏡において、
前記光学素子または前記位相板の何れか一方を移動させる移動手段と、
所定の観察位置における前記光学素子からの光が前記位相板に入射した状態における前
記光学素子または前記位相板の位置と各前記観察位置との対応関係を予め記録する記録手
段と、

前記記録手段に記録された前記対応関係に基づいて前記移動手段の観察位置への移動を
制御する制御部と

を有することを特徴とする位相差顕微鏡。

【請求項 2】

前記記録手段が記録する情報は、前記観察標本を収容する複数の容器の中の 1 つの容器
に対するリング位置情報であり、

前記制御部は、他の容器に収容された前記観察標本を観察する際、前記記録手段に記録
した前記 1 つの容器に対する記録を利用し、前記移動手段を駆動させる

請求項 1 に記載の位相差顕微鏡。

【請求項 3】

前記リング位置情報は、前記光学素子または前記位相板の何れか一方を移動させ、撮像
装置によって撮像された標本画像のコントラストが最大になったときの位置である

ことを特徴とする請求項 2 に記載の位相差顕微鏡。

【請求項 4】

前記光学素子は、スリットが形成された位相リングである

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか一項に記載の位相差顕微鏡。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

本発明の位相差顕微鏡は、観察標本を載置するステージと、照明光を前記ステージ上に載置された前記観察標本に導く照明光学系と、対物レンズを含み前記観察標本を透過した光を集光する観察光学系と、前記対物レンズの前記観察光学系にある瞳位置に設けられた位相板と、前記対物レンズと共役な位置に設けられ、リング状の光が射出される光学素子とを備えた位相差顕微鏡であって、前記光学素子または前記位相板の何れか一方を移動させる移動手段と、所定の観察位置における前記光学素子からの光が前記位相板に入射した状態における前記光学素子または前記位相板の位置と各前記観察位置との対応関係を予め記録する記録手段と、前記記録手段に記録された前記対応関係に基づいて前記移動手段の観察位置への移動を制御する制御部とを有する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】削除

【補正の内容】